【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和7年2月21日(2025.2.21)

【国際公開番号】WO2022/173006
【出願番号】特願2022-580687(P2022-580687)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ 9/08(2006.01)
Ａ６１Ｋ 47/18(2017.01)
Ａ６１Ｋ 47/12(2006.01)
Ａ６１Ｋ 47/38(2006.01)
Ａ６１Ｋ 47/32(2006.01)
Ａ６１Ｋ 45/00(2006.01)
Ａ６１Ｐ 3/10(2006.01)
Ａ６１Ｋ 38/26(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ 9/08
Ａ６１Ｋ 47/18
Ａ６１Ｋ 47/12
Ａ６１Ｋ 47/38
Ａ６１Ｋ 47/32
Ａ６１Ｋ 45/00
Ａ６１Ｐ 3/10
Ａ６１Ｋ 38/26

【手続補正書】
【提出日】令和7年2月7日(2025.2.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
イオン液体および分子量３０００～２００００の水溶性化合物である難吸収性薬物を含む組成物であって、イオン液体がアニオンおよびカチオンからなり、アニオンが炭素数３～７の有機酸であり、カチオンがアルギニン、メグルミン、トロメタモールおよびジエタノールアミンからなる群から選択されることを特徴とする、組成物。
【請求項２】
前記有機酸が、乳酸、クエン酸、酒石酸、リンゴ酸、コハク酸および安息香酸からなる群から選択される１つ以上の有機酸であることを特徴とする、請求項１に記載の組成物。
【請求項３】
前記有機酸が乳酸であり、前記カチオンがアルギニン、メグルミン、トロメタモールおよびジエタノールアミンからなる群から選択されることを特徴とする、請求項１に記載の組成物。
【請求項４】
前記有機酸が酒石酸であり、前記カチオンがアルギニン、メグルミン、トロメタモールおよびジエタノールアミンからなる群から選択されることを特徴とする、請求項１に記載の組成物。
【請求項５】

前記アニオンが乳酸であり、前記カチオンがアルギニンおよびメグルミンからなる群から選択され、アニオンとカチオンのモル比が５：１であることを特徴とする、請求項１に記載の組成物。

【請求項６】

前記アニオンが酒石酸であり、前記カチオンがアルギニンおよびメグルミンからなる群から選択され、アニオンとカチオンのモル比が１：１であることを特徴とする、請求項１に記載の組成物。

【請求項７】

前記難吸収性薬物が、ＧＬＰ－１作動薬であることを特徴とする、請求項１～６のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項８】

さらに、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、ポリビニルピロリドンからなる群から選択される１つ以上の水溶性高分子を含むことを特徴とする、請求項１～７のいずれか一項に記載の組成物。